



中友会

【発行所】
中友会
港区西新橋1-22-13
全日本中学校長会館202号室内
東京都中学校長会事務局内
TEL 03-3504-8705
FAX 03-3504-8706

会則第2条

● 親 睦
● 互 助
● 生涯学習

<http://chuyu-kai.org/>



思いのままに

中友会副会長 古澤 壽朗

○中友会と私

現在、私は中友会副会長になって二年目になりました。この役をやって思うことは、中友会は皆さんのボランティア精神の上に成り立っていることです。様々な行事・幹事会・役員会に出席するだけでも大変なことで、出席するために働いている人は休暇をとります。会の運営を考え次の年の幹事になってもらう人をどう探すか、現役の校長先生方に会の存在を知ってもらうにはどうするか等、課題も絶えません。幹事の方は会の運営に必死になって取り組んでいるのです。さすがに、元校長先生方です。

私は、毎日そんなに必死になって生きてきたわけではありません。そんな時、「一日一生」という文字が目飛び込んできました。今の自分は一日一生の気概を持って真剣に取り組んでいるのだろうか。毎日を充実させようとしていたのだろうかという疑問を持ちました。今は改めて「一日一生」の心構えを持って生きていこうと自分に言い聞かせています。

○自分の考え方

先日は吉野彰・旭化成名誉フェローがリチウムイオン電池開発でノーベル化学賞をもらいました。うれしいニュースでした。

最近の科学技術の進歩と発展は目を見張るものがあり、iPS細胞から人の様々な臓器が作られるようになりました。また、IoT（モノとインターネットが繋がる）やAI（人工知能）の進歩により人の仕事がAIに取って代わられるのではないかと言われています。空飛ぶタクシーや自動運転自動車が実用化される日も遠い先とは思えなくなりました。本当に、第四次産業革命が起きているのです。このような時代に生きていくことを幸と考えるか不幸と考えるか複雑な気持ちですが、この現実をしっかり受け入れなくてはいいけないと考えます。

私は今、奥沢小新BOP (Base of play の略) で放課後児童支援の仕事をしています。ここではよく子ども同士のケンカが起きます。感情的になって物を投げたり、たたいたり、口喧嘩等にな

○心の持ち方

科学技術はどんどん進歩し、変わっていきますが変えてはいけないものがあると思います。相手を思いやる心を持つことです。

あるバスでの出来事です。身動きが取れない位に混んだバスの中、赤ちゃんが泣き出したのです。満員のバス車内、みんな嫌な雰囲気になりました。赤ちゃんとお母さんは運転手のところに行きました。運転手は「どこまで行くのですか」とたずねると、母親は「この子は熱があり、〇〇病院に行くところですよ」とのこと、「みなさんに迷惑をかけるのでおろして下さい」と頼みました。運転手は車内放送をしました。「赤ちゃんは熱があり、〇〇病院に行くところです。バス停まであと3つです。みなさん、バス停3つ我慢していただいけませんか」とパチパチと拍手が起き、バス全体に広がったそうです。混んでいるバスの状況は変わらず赤ちゃんも泣いているのに、運転手の車内放送のおかげで混雑した車内が明るく爽やかになったのです。

心の持ち方で、状況は変わらないのに心を変えることができたのです。

今の世の中を生きていくためにはいつもこのような心の持ち方・ものの見方や考え方をする人になりたいと思っています。